

セルゲイ・カスプロフはやってきた、モスクワから黄金の時代を超えて、この時代に。個性きらめくロシア・ピアニズムの栄光からいくらか遅れて。そんなふうに見える研ぎ澄まされた精神が、カスプロフのピアノ演奏の発火点には宿っている。ヴィルトゥオーゾたちの技と思考を、21世紀の知性と技術で解き放とうとするかのように。
(青澤 隆明 / 音楽評論家)

セルゲイ・カスプロフはおそらくここ十年来、最も知られざる芸術家に選ばれるでしょう。投票などするには及びません。この素晴らしく個性的なピアニストの演奏を虚心に堪能することにしようではありませんか。
(ヴァレリー・アフアシエフ)



セルゲイ・カスプロフ Sergei Kasprov, Piano

現代は演奏家の個性が均一化され、高い技術によって完璧に弾くことが求められています。ですが、それでは誰が何を弾いても代わり映えせず、音楽の世界も貧弱になってしまいます。私の愛する往年の巨匠たちは、技巧の素晴らしさのうえに、それぞれが強い個性を持って輝いていました。
(セルゲイ・カスプロフ インタビューより)

-
- ニコライ・ルービンシュタイン国際ピアノコンクール(パリ) 優勝
 - ホロヴィッツ記念国際ピアノコンクール(キエフ) 特別賞
 - スクリャービン国際ピアノコンクール(パリ) 優勝
 - マリア・ユーディナ国際ピアノコンクール(サンクトペテルブルク) 最高位
 - リヒテル国際ピアノコンクール モスクワ市政府賞
-

2015年11、12月と日本全国7箇所を回る初のツアーでは、恐るべき技術と圧倒的精神力で聴衆を驚愕させ、そのピアノから湧く生の情感が各地のクラシックファンを魅了した。

モスクワ音楽院にてアレクセイ・リュビモフ教授が新設した鍵盤楽器科に入学。同教授に師事しピアノのほか古楽器とオルガンも学ぶ。その後、パリのスコラ・カントルム音楽院にて研鑽を積み、現在はモスクワ音楽院にてリュビモフ氏の助手を務める傍ら、自身のクラスで後進の指導にあたっている。

2005年ニコライ・ルービンシュタイン国際ピアノコンクール(パリ) 第1位受賞をはじめ、同年ホロヴィッツ記念国際ピアノコンクール(キエフ)で特別賞、2006年スクリャービン国際ピアノコンクール(パリ)にて第1位、同年マリア・ユーディナ国際ピアノコンクール(サンクトペテルブルク) 最高位、2008年リヒテル国際ピアノコンクールではアフアシエフに絶賛されモスクワ市政府賞を受賞するなど、数々の著名なコンクールにて好成績を残す。

欧州を中心に演奏活動を行っており、著名な音楽祭への招待も数多く、2009年にはラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭(フランス)、クララ音楽祭(ベルギー)、ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭(ポーランド)に出演し絶賛を浴びる。これまでに、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団やモスクワ国立交響楽団と共演を果たし、2010年にパリのシテ・ドゥ・ラ・ミュージックにおいてエマニュエル・クリヴィヌ指揮の下、リスト『ピアノ協奏曲第2番』を演奏し高く評価された。

2014年リリースし、権威あるディアパソン賞を受賞した「Exploring Time With My Piano」(仏・ALPHA)では、現代ピアノでバロック音楽を再現するという観点からはなれ、現代ピアノの技法を尊重しつつ、見事にバロック音楽の可能性の一つを明示している。2015年には「ソナタ&トランスクリプションズ」(IMC)、2016年には初来日時のライブCD(同)をリリースしている。2017年にはメロディア(露)にて『展覧会の絵』他を収録したアルバムをリリース予定。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)